

子どもたちといっしょに

## 「やさいのおなか」(福音館書店)

きうち がつ さく・え



“やさいの中って、どういう風になつていろいろのだろう”  
子どもたちはそんな素朴な疑問を持っています。

毎日食べている野菜、でも、調理されてしまうとおなかは見えなくなってしまいます。

この本は、初めにおなかのシルエットが描かれてあり、“これなあに”と問い合わせながら、そのおなかの持ち主がどんな野菜が当てていくもので、切り口だけの絵なのに見ていて楽しくなります。

やさいにはそれぞれいろいろなおなかがあるんだとおとなでも改めて気づかせられますし、子どもも興味をそそられると思います。

これを読んだ後は、台所でいろんな「やさいのおなか」を見せてあげて下さい。



第52回読書会

## 「グリーン・ノウの石」 L·M·ボストン 作 黒井俊介 訳

いよいよ「グリーン・ノウシリーズ」も最終巻となりました。とは言うものの第6巻ではなく、別巻となっています。つまり、今までの物語とは違ってまとめ的なものとなっています。

今回は、グリーン・ノウの家がどのようにして建てられたのか、その後、この家はどうなつていったか、その起源や歴史を、11歳の少年ロジャーの体験を通して語られています。そして、今までに登場したトービー、アレクサンダー、リネット、スーザンやジェイコブ、トーリーまでも登場します。「石」の力によってロジャーは、540年先のグリーン・ノウ、更にその140年先のグリーン・ノウに旅をして、子どもたちに出会うのです。

このシリーズはおとなも子どもも関係なく、虜にさせてくれる物語です。ぜひ、読んで参加して下さい。

### 蔵書点検のお知らせ

図書館は、2月7日(月)から2月21日(月)までの間、蔵書点検の為、休館させていただきます。現在しろね図書館には、約12万冊の資料があり、この期間中にすべての資料を点検します。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

2月の行事 ブックバス	
1	新潟県公立図書館 協議会委員連絡協議会
2	(水) 絵本のじかん 3:00~
5	(土) おはなし会 3:00~
7	蔵書点検 (図書館休館) 2月7日~2月21日
12	(土) おはなし会 10:00~ 第52回読書会 13:30~
16	(水) 第23回 かくさんかほじめてあうほん
23	(水) 絵本のじかん 3:00~
24	(木) 白根北中 (3:00~4:00) 大鷲小 (4:30~5:45)
26	(土) おはなし会 3:00~ 図書館フェア 2月26日~3月4日

S.N.  
RE.

# しろね図書館だより

発行 白根市立図書館

平成17年2月1日

No. 57

もうすぐ春がやってきます。

知っているでしょうか。春、たくさんの木々に芽が出来ます。その芽を見ると、何かに見えてくると思いませんか。そう、たくさんの顔に見えてきます。笑った顔、顔、いろいろな顔。んな木の芽の顔写しい絵本です。



「ふゆめがっしょうだん」

子どもたちもみんな成長していく木を迎えるこの季節に読んで下さい。また、歌いながらページをめくっていいくともっと楽しくなります。楽譜が必要な方は、図書館職員までお気軽にお尋ね下さい。

きみみ	パニすかた	パもはきみみ	パニはさこゆ	パははきみみ
のんん	ツコてぜい	ツつるのんん	ツなやよおき	ツがるのんん
めなな	パニきもよ	パとにめなな	パいくうりよ	パでにめなな
だはは	ツコね	ツキがたはは	ツかはなよ	パてなたはは
よ	パすえ	パれれよ	パなるら	パはれよ
きのめ	ツると	ツいば	ツが	ツなば
だよ	ぱよ	ハピ	ハ	パが
	ツ	ツなる	ツ	ツさ
		ん		く
		だよ		

ふゆめがっしょうだん  
長富新太郎 文茂木透 手写真  
福音館書店

### 1月の

来館者 ..... 12,571人  
貸出冊数 ..... 14,254冊  
予約件数 ..... 218件

(2月・1月・2月は降雪のため  
ブックバスは、お休みしています)

リクエスト情報(しばらくお待ち下さい)  
1位・世界の中心で、愛をさけぶ (4名)  
2位・ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 (8名)  
3位・ダレン・シャン (2) (5名)  
4位・いま、会いにゆきます (4名)  
キッパリ! (4名)  
他

～図書館員がおすすめするこの一冊～

## 「鹿よ おれの兄弟よ」

神沢利子作 G・D・パブリーシン絵

福音館書店



この絵本、テレビや映画を超える感動的物語です！30ページほどのこの絵本の中に、壮大なストーリーが見えてきます。「見える」というよりも絵本の世界に「引き込まれる」といった感じです。この感動は読んだ人しか味わえません。物語に冒險などの激しさはありませんが、読み始めからスッと物語の中に吸い込まれていきます。

シベリアの森に住む一人の猟師と鹿、その鹿を食料とする漁師の心の言葉として物語は語られています。猟師は生きていくために、そして家族を養うために鹿を殺してその

血肉を食べますが、血肉は自分たちの血肉となり、生の糧となります。すべてのものには魂が宿り、すべてのものに感謝を捧げるという生活は今でも受け継がれており、それはアメリカ先住民の生き方が物語になっている「イシ」(ティーンズ' 933ク)にも語られていますが、昔の日本のあちこちにもこのような信仰がみられます。生き物の根源には自分が生きていくためには他者を殺して生きていかなければならないという考えがあります。私たちの今があるのはたくさんの犠牲の上にあるのです。そういったことをこの絵本は気づかせてくれます。

今を生きている私たちはそのような心を忘がちになっているような気がします。こんなにも物が溢れ、手を伸ばせばすぐに欲しい物は手に入るこの世の中で、私たちはいろいろなものに「感謝」するという心を忘れてしまったのではないか。今一度自分自身に問いかけてみてください。

魚がはねる「ブツィルド ブツィルド」という音や流木の流れる「ディープ ディープ ドルドドルー」という音など今まで聞いたこともないような舟や動物、自然の奏でる音もとても幻想的です。小学校高学年くらいからおすすめします。心を静かにして読んでみてください。

[絵本 Eバ] (司書 小林友治)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 図書館フェア開催予定！！

平成12年6月から新館開館以来、しろね図書館では様々なイベントを行ってきました。「おはなし会」「絵本のじかん」「絵本・物語にでてくるおやつづくり」…数え上げればきりがありません。そこで、今回新潟市となる3月を前に開館以来のイベント・行事などしろね図書館がやってきたすべてことを皆様に見てもらおうと図書館フェアを開催することになりました。しろね図書館の仕事がわかると思います。みなさんに参加してもらえる楽しい企画もご用意しています。ぜひ、ご来場ください。詳しくは締じ込みチラシをご覧ください。

## 第51回 読書会

平成17年1月16日(日)

午後1時半より

◆ 参加者 七名 ◆

### 『グリーン・ノウの魔女』

L.M.ボストン  
竜山俊介 評論社 訳作

いよいよグリーン・ノウ物語も5巻目。これまでの1巻から読んで参加された方、5巻目からの方もみなさん存分に楽しました。

今回のことはなしあ、これまでの登場人物？猿？が出てきます。グリーン・ノウ最大のピンチをオールドノウ夫人、トーリー、ピーターリーとピングたちが力を合わせて乗り切るとさまざまな魔法で戦うおはなし。

★★★

●魔女の訪問からうじ虫、猫、蛇のわざわざとスリル感があり、読み始めたら止まらなかった。バラは愛を表すものという表現が特に印象に残った。トーリーとピングは道具がなくて遊んでいた。今の子どもは色々なものに溢れている事を実感した。」

参加者の感想から

## 次回の読書会は、「グリーン・ノウの石」

2月 12日(土) 午後1時半～3時半

会場 ルーム2

本は、図書館カウンターで貸出しています。  
どなたでも気軽に「参加ください。お待ち

しております。

（大野 恵子）

## ▲△行事報告▼▽

「ダヤン

『わちふいーるど』のお菓子づくり

1月23日(日)

18名

『大どろぼうホツツンプロツツ』  
のプラムケーキ

6名

の参加がありました。

●児童文学の良さは結末がハッピー・エンドという所でしょうね。ここでも、子ども達の幸せな笑顔で終わりますね。職員が絵本・おはなしをして、楽しい時間になりました。ありがとうございました。

●作者のボストン夫人は、薔薇の古代品種の育種家としても著名で、実際にもすばらしい庭と家で暮らしていた。